

信用金庫による地方創生! 日本を明るく元気に!

2018“よい仕事おこし”フェア

2018 “よい仕事おこし” フェア 出展報告書

ものづくり・イノベーション推進課
ものづくり取引促進担当

本展示会は、東日本大震災後の2012年より「東北・熊本復興応援」と「地方創生」をメインテーマとして開催され、今年で第7回目を迎えた。前回までは城南信用金庫の主催となっていたが、今回から「よい仕事おこし」フェア」実行委員会が主催となり、信用金庫業界のイベントとしての位置付けが強くなっている。ものづくりに特化した展示会ではなく、観光や特産品のブースを目当てとした一般の来場者も多いが、出展企業数、入場者数も年々増加しており、展示会としての規模は回を追うごとに着実に拡大している。

会場風景



業務報告書

会 期：2018年9月19日（水）～20日（木）10:00～18:00（20日は16:00）

会 場：東京国際フォーラム

主 催：「“よい仕事おこし”フェア」実行委員会

出展者数：490ブース（2017年433ブース 2016年381ブース 2015年375ブース）

*バイヤー、特産品販売、飲食店ブース含む

来場者数：約45,980名（2017年41,000名 2016年37,570名 2015年29,423名）

	8月19日(水)	8月20日(木)	合計
来場者数	25,439名	20,541名	約45,980名

*出展者数・来場者数は主催者事務局より

2 区内企業の出展状況

今回の展示会は490ブースのうち区内企業が41社と、出展者の約1割を占めた。区内企業のほとんどがものづくり企業だったが、その他飲食店や卸売業、医療法人など幅広い業態での出展があった。

（出展企業は以下の通り）

大田区出展企業一覧

	企業名	ブース番号
1	(株)雨宮製作所	A-05
2	インターナショナルダイヤモンド(株)	A-10
3	(株)上田製作所	A-11
4	(株)海老原製作所	A-19
5	(株)佐久間製作所	A-34
6	城南電気精器(株)	A-38
7	(株)東邦精機製作所	A-52
8	(株)ナンバ	A-54
9	二松電気(株)	A-56
10	(株)羽田パイプ製造所	A-59
11	フジコン(株)	A-63
12	(株)三津海製作所	A-66
13	(株)山小電機製作所	A-72
14	菱和工業(株)	A-74
15	(株)キャドマック	B-03
16	(株)志村精機製作所	B-06
17	(株)ダイニチ	B-10
18	深田パーカラライジング(株)	B-12
19	(株)ハプコ	C-24
20	光写真印刷(株)	C-25

カテゴリーの内容

A 機械、金属

電子、製造

B 加工技術

C 印刷

・その他製造

D 健康・医療

福祉・環境

E 建設・土木

住宅

F その他

G 全国の観光

物産販売等

K 卸・小売

L IT・情報通信

M その他団体



業務報告書

21	(同)MOA I 設計	C-28
22	(株)iBOT	L-02
23	シマフジ電機(株)	L-09
24	(株)環境向学	D-06
25	(株)共立理化学研究所	D-07
26	(有)久保村事務所ひらけ!GOMAプロジェクト	D-09
27	医療法人社団涓泉会	D-10
28	(株)塩原製作所	D-11
29	(有)アレックス	E-01
30	小川建設(株)	E-05
31	(株)システムロック	E-13
32	(株)城南サービス	E-14
33	(株)ヒラヤマ産業	E-26
34	小簾(株)	F-06
35	(株)フローレツエンティワン	F-29
36	(株)ルーチェ	F-35
37	羽田バル (有)大鵬	G-78
38	(株)浜富海苔	G-79
39	(株)山秀	K-10
40	r.ist	K-31
41	(株)GWC	M-03

3 大田区産業振興協会ブースの成果

	9月19日(水)		8月20日(木)		合計	
	名刺数	相談件数	名刺数	相談件数	名刺数	相談件数
大田区産業 振興協会	31枚	6件	28枚	4件	59枚	10件

4 相談案件

名刺交換枚数：59枚

案件総計：10件（うち○：1件 △：9件 ×：0件）

○（見積書授受、発注見込、開発化検討）

△（次回テーマを具体化し商談継続、図面待ち、対応先選定中）

×（アンマッチ見込み薄い）

業務報告書

5 所見

本展示会は、信用金庫の取引先が中心に出展しており、出展企業はものづくりの企業だけでなく、観光や物販、飲食店等多くの業態にまたがっていた。そのため、普段ものづくり・イノベーション推進課が出展している専門性の高い展示会とは異なり、一般の来場者や業界関係者が多くを占め、企業の技術者や、研究機関の担当者の来場割合は少なかった。出展ブースは東京国際フォーラムのメインホールである地下2階のホールEと、その上の地下1階のロビーギャラリーの2フロアに分かれて展開されているが、地下2階がビジネスエリア、地下1階が観光・物販、各種自治体と、フロアでカテゴリー分けがされていた。

当協会は自治体のカテゴリーだったため、地下1階のロビーギャラリーにブースを出展したが、地下1階はビジネスを目的とした来場者の訪問がほとんどなく、出展効果を十分に発揮させることができなかった。また地下1階のブースは各ブース面積が今年の3分の2に縮小となり、商談スペースが十分に確保できなかった（来場1名までしか商談に対応できない）。

年々規模が拡大しており、区内企業も多く出展する展示会のため、今後も出展する意義はあると思われる。よって次回の出展効果を高めるため、来年の出展の際には地下2階のビジネスエリアに協会ブースを出展できるよう、展示会主催者へ要望を出した。

業務報告書

日本ものづくりワールド 2018 内

第22回

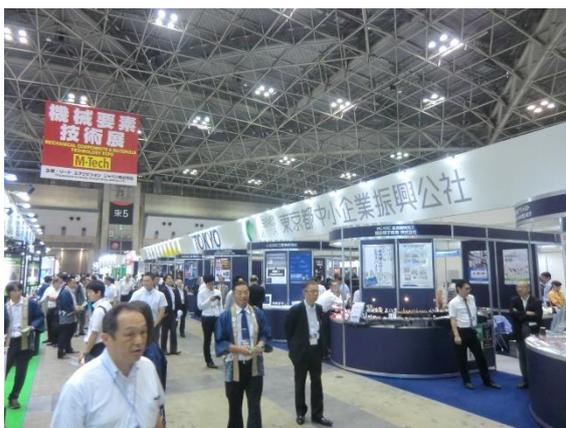
機械要素技術展

エムテック
M-Tech

「第22回機械要素技術展」出展報告書

本展示会は、軸受、ベアリング、ねじ、ばねなどの機械要素や、金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた日本最大規模（面積・出展者数）の専門技術展あり、毎年、設計・開発・製造・生産技術部門を中心とした製造業ユーザーが多数出展し、出展企業と商談を行っている。また、本展示会に加えて「第29回設計・製造ソリューション展」、「第9回ヘルスケア・医療機器開発展」、「第26回3D&バーチャルリアリティ展」が同時開催された。今回も出展の趣旨を明確にするため、カテゴリーを自治体枠ではなく、微細精密加工枠にて出展した。

会場風景



業務報告書

1 展示会概要

会 期：2018年6月20日（水）～22日（金）10:00～18:00（22日のみ17:00）

会 場：東京ビッグサイト 東・西ホール

主 催：リード エグジビション ジャパン(株)

同時開催：総称「日本ものづくりワールド2018」

第29回設計・製造ソリューション展、第9回ヘルスケア・医療機器開発展

第26回3D&バーチャルリアリティ展

出展者数：約2,522社（2017年2,454社 2016年2,318社 2015年2,253社）

来場者数：88,679名（2017年88,554 2016年87,285名 2015年81,469名）*併催を含む

	6月20日(水)	6月21日(木)	6月22日 (金)	合計
来場者数	24,310名	29,867名	34,502名	88,679名

2 大田区企業の出展状況

今回、単独で出展もしくは他自治体から出展している大田区は32社であった。大田区の得意分野である部品加工や試作に対する相談が多く、効果の期待できる展示会であり区内企業の出展ニーズは高い。

3 大田区産業振興協会ブースの成果

	6月20日(水)		6月21日(木)		6月22日(金)		合計	
	名刺数	相談件数	名刺数	相談件数	名刺数	相談件数	名刺数	相談件数
大田区産業 振興協会	29枚	20件	36枚	24件	46枚	28件	111枚	72件

4 コーディネーター案件

名刺交換枚数：111枚

案件総計：72件（うち○：7件 △：65件 ×：0件）

○（見積書授受、発注見込、開発化検討）

△（次回テーマを具体化し商談継続、図面待ち、対応先選定中）

×（該当企業無し等、紹介不可確定の先）

6 担当者所見

本展示会は、年間を通して協会が出展する展示会の中では最も実績を残している展示会であり、多くの来場者が見込まれたが、初日は天候不良の影響もあってか、思ったよりも来場者が少ないまま終了した。2日目も午前中は相談件数が2件と低調だったが、午後からは急激に来場者が増加し、初日を上回る形となった。最終日（金曜日）は他の展示会と同じく、来場者も相談案件も最多であったが、期間中を通してみると来場者は午後に集中する傾向が顕著に見られた。来場者層については、コスト

業務報告書

重視の相談もあったものの、実際に図面を持ちながら対応できる企業を求めてブースを回っている企業の技術関係者も相談に訪れた。また営業やひやかし等は他の展示会に比較すると少ないように感じた。

依然として当協会の受発注あっせんサービスについては、今回初めて知ったという来場者がほとんどで、1人でも多くの来場者に周知する必要があると改めて認識させられた。

最終日は特に多くの来場者がブース前を通ったが、ブーススペースが短いためか声を掛けても素通りされてしまうケースが多く、今回のような大きな展示会の場合、遠くからでも協会ブースの意図が認識できるような工夫があればもっと効率の良い展示会運営ができるのではないかと思われる（次回の機械要素技術展は東京オリンピックの開催に伴い8か月後の平成31年2月に開催）。

業務報告書



「人とくるまのテクノロジー展 2018 横浜」出展報告書

本展示会は、公益社団法人自動車技術会の2018春季大会の中で開催される展示会。1992年に始まり、自動車業界の第一線で活躍する技術者・研究者のための専門展である。

今年は自動運転等の様々な新技術を進化・応用させる機会を提供すべく、「社会を、生活を変えてゆく、自動運転技術」をテーマに、大手自動車メーカー他、金属加工、電子部品、樹脂部品分野の企業の最新技術が展示されていた。昨年度から当協会は単独出展している。

会場風景



業務報告書

1 展示会概要

会 期：2018年5月23日（水）～25日（金）10:00～18:00（25日は17:00終了）
会 場：パシフィコ横浜 展示ホール
主 催：公益社団法人自動車技術会
協 賛：板硝子協会、（一社）軽金属学会、（一社）潤滑油協会、（公社）石油学会、石油連盟

（一社）日本アルミニウム協会、（一社）日本機械学会、（公社）日本工学会、（公社）日本材料学会、（一社）日本自動車会議所、（一社）日本自動車機械器具工業会、（一社）日本自動車機械工具協会、（一財）日本自動車研究所、（一社）日本自動車工業会、（一社）日本自動車車体工業会、（一社）日本自動車タイヤ協会、（一社）日本自動車部品工業会、（公財）日本自動車輸送技術協会、（一社）日本鉄鋼協会、日本内燃機関連合会、（一社）日本マグネシウム協会

出展者数：597社(2017年565社 2016年538社 2015年538社)

来場者数：93,458名(2017年90,687名 2016年87,375名 2015年86,939名)

	5月23日（水）	5月24日（木）	5月25日（金）	合計
来場者数	27,355名	28,890名	37,213名	93,458名

2 大田区産業振興協会ブースの成果

	5月23日（水）		5月24日（木）		5月25日（金）		合計	
	名刺数	相談件数	名刺数	相談件数	名刺数	相談件数	名刺数	相談件数
大田区産業振興協会	31枚	23件	39枚	30件	42枚	25件	112枚	78件

3 担当者所見

本展示会は、90,000人以上が来場する国内有数の展示会であるが、自動車業界の活況と相まって年間3,000人規模で来場者が増えており、本年度は3日間で93,458名が来場され、今年も過去最高の来場者を記録した。

自動車業界の第一線で活躍する技術者・研究者のための展示会であり、自動車メーカーや、部品メーカーの開発部門の担当者が多く来場している。従って協会を受発注あっせん業務へのニーズは高く、実際に協会を受発注あっせんについては「今後は是非利用してみたい」という声がほとんどであり、出展におけるPR効果は高いと思われる。

今年度より一新したサンプル品の展示ショーケースは好評を得ており、協会ブースを知らずに通過してしまうようなケースでも、サンプル品を展示していることで興味を持って足を止めてもらう効果が確認できた。特に出展企業の多い大規模な展示会においてはよりその傾向が認められた。

協会は「R&D・出版・団体」の категорияで出展したが、海外の自治体ブースに挟まれたためブースへの来場者の流れがあまり良くなかった。出展カテゴリーを見直すことが課題で

業務報告書

ある。

事務局に会期中出展カテゴリについて確認したところ、出展ブース位置については、ある程度の希望を出すことが可能とのことだったので、次年度は部品メーカーのカテゴリにする等の工夫をして出展効果を更に高めて行く。

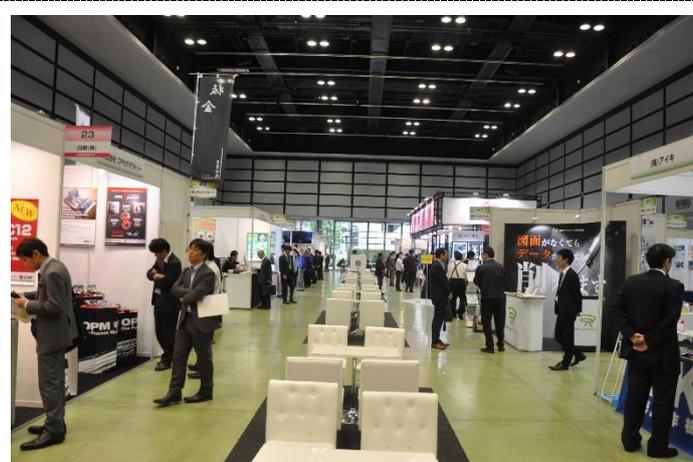
業務報告書

試作市場2018 & 微細・精密加工技術展2018

「第9回試作市場2018」出展報告書

「第9回試作市場2018」は、大田区産業プラザ（PiO）を会場に、製品開発の出発点「試作」に焦点を絞った専門展として開催、切削や板金などの機械加工分野の技術が中心に展示されていた。また、本展示会に加えて「微細・精密加工技術展2018」が同時開催された。今年度も昨年同様、当協会が単独出展した。

会場風景



業務報告書

1. 展示会概要

会 期：2018年5月10日（木）～11日（金）10:00～17:00（最終日は16:00）
会 場：大田区産業プラザ PiO 大展示ホール
主 催：日刊工業新聞社
後 援：経済産業省
協 賛：公益財団法人大田区産業振興協会
併 催：微細・精密加工技術展 2018
出展者数：76社（2017年81社 2016年78社 2015年75社） *併催を含む
来場者数：2,851名（2017年2,799名 2016年2,711名 2015年2,732名） *併催を含む

	5月10日（木）	5月11日（金）	合計
来場者数	1,235名	1,616名	2,851名

2. 大田区産業振興協会ブースの成果

	5月10日（木）		5月11日（金）		合計	
	名刺数	相談件数	名刺数	相談件数	名刺数	相談件数
大田区産業振興協会	45枚	24件	71枚	41件	116枚	65件

3. 担当者所見

本展示会は、今回で9回目の開催となる。展示会への入場者数は2,851名（主催者発表）と、東京ビックサイトやパシフィコ横浜等で開催される大規模な展示会と比較すると、10分の1程度の来場者数であるが、1つ1つのブースをじっくり見ていく来場者が多く、展示会の目的も試作品の作製という具体的なテーマがあるため、受発注あっせんの説明をすると関心を持って詳細の説明を求めるケースが多かった。

協会の受発注あっせんは来場者の認知度が低く、協会が展示会に出展している意味を理解している来場者はほとんどいないため、こうした展示会で区内企業の受発注のあっせんを無料で行っていることをPRしていく意味は非常に大きいと思われた。その意味で今回サンプル品を一新したことは、試作品等の製作需要のある来場者の関心を引くという点で大変効力を発揮していたと思える。

業務報告書

大手の一流メーカー担当者も多く来場しており、企業が試作部門を縮小する中で高い技術力を持つ区内企業への潜在的な需要が多くあることを感じたが、大手企業ほど製品に対する機密性を重視しており、協会があっせんを行う中で最先端の開発においても安心して受発注のあっせんに依頼できる体制であることもアピールできれば、より多くの需要を取り込めるのではと思われる。

企業の開発担当者は様々な要件を満たす製品を開発できる企業を見つけるため、各企業のブースを一か所ずつ回っている。このためものづくり取引促進担当として、今後も展示会出展を通じて、あっせん相談事業を広く認知してもらえよう活動していく。